

小中一貫教育、CS・地学協働のさらなる充実へ

小中一貫・CS 通信

NO.73 R7.7.8 幕別町教育委員会 学校教育推進員

各学園では6月末までに「第2回学校運営協議会」が開催されました。取組の進み具合についての確認や、今後に向けたアイデアの交流など、どの学園でも活発な論議が繰り広げられました。

地域・家庭・学校が子どもたちを真ん中に据えながら、集う皆さまの温かさや熱意によって支えられ、展開される『CS・地学協働活動』…幕別町において年月を費やし着実に積み重ねられてきた「確かな連携」に基づく数々の取組は、子どもたちの輝く笑顔をたくさん生み出しています。

また、子どもたちの9年間の成長をイメージしながら、小・中学校が「確かな連携」のもとで様々な教育活動を展開する『小中一貫教育』も、年を追うごとに充実度を増しています。

今年度も各学園の取組紹介を中心として発行する予定の『小中一貫・CS 通信』を通して、皆さまの思いや考えを紡ぎ合わせながら、小中一貫教育・CS・地学協働活動の更なる充実を目指していきたいと思えます。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

※No.73では各学園の今年度の取組について、その概略を紹介していきます

「新しいつながり」を目指して ～ちゅうるい学園～



人、学校・家庭・地域、小・中学校、未来…
学園が考える「つながり」の先は、いろいろですが、
全て子どもたちを真ん中に据えてイメージされています。
小・中・地域が連携して行った『花いっぱい運動』では、
温かく楽しい「つながり」によって、ふるさとを愛する心が
更に高まりました！

「次代を拓く」強さと柔軟性を育むために ～糠内学園～

「次代を拓く」主体性をもつために、学園がイメージするのは「表現力・コミュニケーション能力」に溢れる子どもの姿です。学園3校が合同で行った『体力・運動能力調査』は、目指す子どもの姿に迫るための手立ての一つ。協力して取り組み、励ます声で意欲を高める…次代を拓く素地が着々と育っています！



「郷土愛とたくましさ」を子どもたちに ～さつない学園～



9年間の見通しをもって「自ら表現する」「自ら学ぶ」「他とかかわり合う」という3つの力の育成を目指す学園。『小・中合同挨拶運動』は表現力や協調性を高める絶好の機会となりました。15日に予定している次回の挨拶運動は、地域も加わり実施する予定…ふるさとの心強さも感じる貴重な場となります！

「行動（表現）」する意欲を引き出すために ～札内東学園～

学園で重視しているのは、子どもたちの「夢や希望の実現」「ふるさとを愛す」「仲間と共に高め合う」という姿。そのために「行動」をテーマに取組を進めます。『パークゴルフ教室』も行動の意識がいっぱい。プレーを通して故郷の特色を味わう、仲間と協力して楽しむ…地域の協力の下で基盤が築かれていきます！



9年間を見通し「力強さ」と「自立」を育む ～まくべつ学園～



来春の義務教育学校開校を見据え、「9年間を見通した教育活動の創造」をより一層大切に考えています。積極的に行われている『乗入授業』もその表れの一つ。算数や体育など4つの教科で実施されている取組には、協働で子どもたちの「力強さ」と「自立」を育んでいこうとする意欲に満ち溢れています！

幕別町小中一貫教育・CS推進連絡会議

～7月18日(金)開催～

標記会議が、白人小学校多目的ホールをメイン会場として7月18日(金)18:30～20:00に開催されます(この会議は年2回の予定で実施されます)。

今回は各学園で掲げている『目指す子ども像』に注目し、次の発表をお願いしています。

- ① 学園の『目指す子ども像』を設定した理由を教えてください
- ② 設定した『目指す子ども像』に迫るために学園で行っている手立てを教えてください

「学園の実態」や「取組に対する思いや考え」等を交流しながら、今後の取組に向けたイメージが膨らむ会になればと考えております。参加される皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

